

基本圏域レベル地域ケア会議の報告について

1 区レベル会議のまとめ～10月の区レベル会議開催以降の経過報告（資料5－①②）

区レベル会議でABCの事例から導き出された3つの地域課題・問題（以下「課題」という。）の解決に向けた検討を行った。その結果（意見）をまとめたものが「7つの解決策」である。区レベル会議の後、この結果を踏まえ、基本圏域レベル会議で討議を行うこととなった。

区レベル会議で検討した 3つの課題	区レベル会議で示した 7つの解決策（意見）	資料 5	資料 6
<1>若い世代を含む多世代に、 認知症を正しく理解してもらう にはどうすればよいか	①認知症サポーター養成講座の受講の勧奨 と開催場所の確保	①	①
	②子育て世代、子ども世代に認知症を正しく 理解してもらう		
<2>認知症の方や家族の集い の場をどのように増やすか	③本人や家族がいつでも気軽に集まれる住 民主体の集いの場の整備・周知		②
<3>早期発見と関係機関への つなぎをどのように行うか	④困った時の相談場所、その相談先リストの 作成と、区民への普及啓発	③	
	⑤認知症の人の早期発見と関係機関へのつ なぎ、見守りを行う上での個人情報の扱い		
	⑥支援を求める訴えが弱い人や複合的な症 状を抱えた人への気づきと早期発見	②	④
	⑦重複・複合的な困難状況を抱えた人を発見 したとき、介入できる仕組み、またその後の 対応・支援、孤立させない仕組みづくり		

2 基本圏域レベルの討議結果のまとめ（資料6－①②③④：課題との対照は上表参照）

基本圏域レベル会議では、区レベル会議が示した「7つの解決策」を踏まえながら、課題の解決に向けた検討を行った。

(1)各地区で基本圏域レベル会議の開催

大森、調布：11月27日 蒲田：11月21日、12月19日

糀谷・羽田：11月20日、12月18日

(2)内容 区レベル会議の結果報告

区レベル会議の「3つの課題」「7つの解決策」踏まえた討議

※「討議の視点」をもとに、少しでもできることを考える。

～ 討議の視点 ～

- ①現在実施していること
- ②現在実施していることで、検討・見直しが必要なもの
(現状のままがベストなのか。現状からどのように変更するとさらによくなるか)
- ③現在実施していないが、新たに実施できること(どんなに小さなことでもできること)
- ④実施できないこと(検討しても無理な理由。その「理由」は解消できるものか)
- ⑤社会資源の整理(課題解決に必要な地域の社会資源の情報を収集・整理する)
- ⑥ネットワークの構築(課題解決に必要な地域の社会資源等のネットワーク構築を意識)
- ⑦区レベル会議への提案(上記検討を通じて、区レベル会議に提案すべきことがあるか)